

あけまして
おめでとう

2014

とよたち美肌通信

1月号

VOI. 42

絵梨香 13才

麗らかな光を仰ぎ感じる初春の候、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中も例年同様格別のお引き立てを頂きありがとうございました。2014年も職員一丸となり、皆様の健康の一助となれます様医療サービス向上に努めて参りますので一層のご愛顧を賜わります様お願い申し上げます。

人生の達人(偉人)の言葉にたまたま出てくるのが「素直」ということ。一体「素直になる」とは?

素直になるとは感謝すること。素直になりたいなら感謝し感謝する心を持てれば「素直になれる」と。「ものの本質が見える」ようになる。

『プロの条件(致知出版社)』第5章「人生をゆるく」によれば、社寺建築の第一人者である小川三夫さんは弟子時代、師の言葉に全て「はい」と従ったという。その経験から小川さんいわく、「批判の目があっては学ばせん。素直でなければ本当の技術が入っていかないですぬ」と言う。

心にゆたかまりのある人は人生を歪める。

多くの先達^{せんた}が言っていることである。

素直になれれば受容できる様になり

自分の容積が増し 更に知識が増す。

自分の受け皿が大きくなり人間力がつく。

素直になるとは、「心をひろく」こと。ひろくには、
開拓する・耕すという意味もある。

つまり素直になることは心の畑を耕すこと。

良く耕した心の畑にまいた種は 良^よい実を
つけ収穫できるものは絶大であるはず。

ついでに良く耕した畑にま^まくその種には、

「喜^きみや愛語」といったスパイスをつけよう。

そうすれば、その実を食^くべた自分も周^{まわ}りの
人も慈愛に溢れた笑顔になることだよ。

素直になることはこんな素晴らしいこと。

2014年 院長・拝